



眼底疾患と血流の関係

眼底疾患は網膜、脈絡膜、視神経に起こる病気の総称です。外来診療で頻度が多いのは緑内障、糖尿病網膜症、網膜静脈閉塞症、中心性漿液性脈絡網膜症ですが、これらの病気で眼底血流の循環が悪くなるのが分かってきました。

や緊張、疲労を感じると交感神経の作用で脈絡膜血管が収縮して血流が減り、上記の眼底疾患は悪化します。冷え症や頭痛もち、肩こり、夜眠れない、睡眠時無呼吸症候群も血流が減る悪化因子です。さらに生活習慣病では血管が傷んで、ストレスによる交感神経の作用をより受けやすくなります。

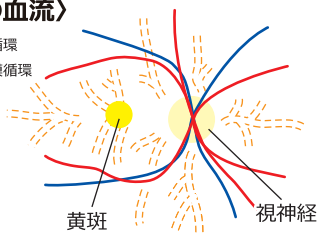
神経や網膜の血流が悪いほど早く進行します。眼底血流には網膜と脈絡膜の循環があり、より視力に影響するのは脈絡膜循環の方です。それは、脈絡膜血流が自律神経、特に交感神経の作用を受けるからです。イライラ

眼底疾患で病状が改善しない時、血流が悪いと考えられ、その治療も併せて行う必要があります。夜間睡眠中のことは自分では分からないので、誰かに確認してもらったんです。

糖尿病網膜症や中心性漿液性脈絡網膜症は、網膜だけでなく脈絡膜の血流が減り、視力が障害されます。網膜静脈閉塞症は、血栓を生じた網膜の血流が減りますが、視力回復が悪い場合、脈絡膜血流の循環がない領域が存在します。緑内障も視

<眼底の血流>

● 網膜循環
● 脈絡膜循環



黄斑 視神経

伊田眼科クリニック

- ・眼科一般
- ・日帰り手術
- ・コンタクトレンズ取り扱い

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:30	○	○	○	○	○	○	△
12:30	○	○	○	○	○	○	△
15:30	○	手術	○	△	△	△	△
18:30	○	手術	○	△	△	△	△

【休診日】木・土曜午後
日曜、祝日

TEL 079-556-8600

三田市武庫が丘7-7-4 エムズⅡビル1階 <http://www.ida-ganka.com>

